

幹主子とも仁羽

# 子供之友

本誌は十分教育的に編輯された子供雑誌で御座います。記事も挿畫も子供の喜ぶものばかりです。楽しんで讀む間に、頭腦をよくし感情を高尙にし、善良なる習慣を愛するやうになります。『子供之友』には、一つの非教育的なる挿畫も、一行の不注意なる文章もありません。『子供之友』は、家庭教育の最も有力なる補助機關であります。幼稚園及び小學校時代の御子様方のために、熱心によき讀物を求めて居らるる御家庭におすゝめ致します。

定額 一冊 十一錢 半年 五錢 一分 六錢 十錢  
婦人友人社 東 京 雜 司 谷  
代 替 一 〇 〇 番

顧問 高島平三郎先生

# モドコ

日 本 一 の 繪 雜 誌

## 本誌の特色

- 最もまじめなこと
- 最も教育的なこと
- 最も平易なこと
- 繪の美しいこと
- 記事の面白いこと

本誌は最も着實にして教育的幾多畫雜誌中独自の地歩を占む。記事は全部片假名にて極めて平易。八九歳以下の子供の絶好伴侶なり。

發行所 東京市小石川區林町五十七

モドコ  
 電話替番 東京 六二  
 番 番 八三  
 社 番 六

定價一冊拾錢  
 郵稅五厘  
 六冊郵稅共五拾八錢  
 十二冊郵稅共壹圓拾錢  
 總て前金の事

# の一本日 年幼本日

□倉橋惣三先生監修

本誌は、三歳から拾歳までの子供の爲め美しい繪と、面白い噺とを、教育的に組み合せた他に比類なき繪雑誌です。

本誌は、玩具とお噺しとの興味及び教育的價値を兼ねあはせたるもの、子供には何よりも喜ばれ、何よりもよき友達となります。

定價

壹冊拾錢 □半年 郵税共六拾參錢  
郵税壹錢 □壹年同 壹圓貳拾錢

婦人畫報  
少女畫報  
日本幼年

發行所

東京橋鍛冶橋外  
振替東京四九〇〇

東京社

會長

醫學博士 片山 國嘉

規則

『兒童研究』は兒童の身體と精神との學術的研究に關する事項を集録せる我國唯一の雜誌なり。兒童身體の解剖、生理並に心理より始めて其養護、教育、法律等に涉り教育病理學、特殊教育學等あらゆる範圍にありて兒童問題の研究に資すべきものは皆網羅せざるはなし教育家、醫家、心理學者は言ふまでもなく兒童の保護者ならびに兒童生活に興味を有する人々の爲に好伴侶たるべし。

主幹 醫學博士 高島平三 游 富士川

概要

●本會は兒童の精神及び身體の狀態を科學的に研究するを以て目的とす  
●毎年春秋二期に本會の總集會を開き演說談話討論等を行ふ  
●雜誌は毎月之を發行し會員には無料にて配布す

兒童研究第十九卷第八號目次

「可き」と「ある」	評 論	上中下の教育機關の一致協力	誤れる兒童教育	新愛國心の養成	開發的教育	講 演	一産多兒の話	自由主義と家庭教育	兒童の養護	第一印象	子供の冬の衛生	最も良しと思ふ乳瓶と乳首	獨逸兒童文學史	兒童學彙報	兒童智力檢査成績	生徒精神能力の研究報告	結婚年齢と小兒數	小學校兒童の腰掛及び方法	雜誌文籍	外に雜誌數十件
醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士
村尾	河野	富島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島	高島
清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節	清節
丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三	丸三

●入會せんとする者は姓名族籍職業及現住所を詳記して事務所に申込むべし  
●本會員は會費として毎年金一圓八十錢を前納すべし。但し集金の便ある地は毎月金十五錢を納むることを得  
●會員は各自の研究上並に兒童教育上に關して本會に協議することを得

日本兒童學會事務所

(五九三二京東座口替振)地番十町片西郷本京東

雜誌 共一 十六 錢

雜誌見本 希望者は 郵券拾錢を 送らるべし